

田中先生の ワルシャワ通信

第 5 号

平成27年9月22日

おはようございます。

最近はめっきり秋らしい天気になってきて、半袖では寒くなってきました。日が沈むのも、夏は9時くらいまで明るかったのに、今では7時で真っ暗です。冬になると、4時でも暗くなるそうで、少し寂しい感じがします。

さて、先週ワルシャワ日本人学校の修学旅行が行われ、Torun という街に行ってきました。

1 は Torun の旧市街を教会の展望台からとった写真です。

Torun の旧市街は1997年に世界遺産に登録されました。ここの歴史はとても複雑で、今はポーランドの街ですが、ドイツ騎士団が支配していたり、プロイセンに併合されたり、ナチスドイツに占領され捕虜収容所になったりしています。



2はコペルニクスの銅像の写真です。

Torun は地動説を唱えたニコラウス・コペルニクスが生まれた街としても有名です。コペルニクスの生家は現在博物館として使われています。



3はドイツ騎士団の城跡です。

ポーランドは、モンゴルによるポーランド侵攻の被害から復興するために多くのドイツ騎士を受け入れますが、その後ドイツ騎士団に対する反乱が起き、城は破壊されて写真のようになりました。



4は1の写真を撮った塔がある教会です。
ヨーロッパならではのきれいな教会ですね。



それでは、またお送りします。
こちらでは今日からまた学校でした。
シルバーウィーク、うらやましいです。

PS 次の日曜日、ワルシャワマラソンに参戦します。不安いっぱいですが、
完走はできると思うので頑張ります。

田中正典